



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 EIZO株式会社

コード番号 6737 URL <https://www.eizo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 実盛 祥隆

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 経理部長 兼 IR室長 (氏名) 有生 学 TEL 076-275-4121

四半期報告書提出予定日 2023年11月9日 配当支払開始予定日 2023年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	37,185	1.7	1,636	△26.0	3,203	27.7	2,158	△31.0
2023年3月期第2四半期	36,566	△16.4	2,212	△66.5	2,508	△64.3	3,127	△39.3

（注）包括利益 2024年3月期第2四半期 6,571百万円（－％） 2023年3月期第2四半期 381百万円（△95.9％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	104.89	—
2023年3月期第2四半期	148.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	163,340	125,832	77.0	6,115.50
2023年3月期	155,935	120,580	77.3	5,861.22

（参考）自己資本 2024年3月期第2四半期 125,832百万円 2023年3月期 120,580百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	60.00	—	65.00	125.00
2024年3月期	—	100.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	100.00	200.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	81,500	0.8	5,100	2.0	7,200	17.5	5,100	△13.0	247.87

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2023年10月31日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	21,981,160株	2023年3月期	21,981,160株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,405,174株	2023年3月期	1,408,606株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	20,573,904株	2023年3月期2Q	21,105,489株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料はTDnetで本日（2023年10月31日）開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、経済活動の正常化が進んだもののドイツにおいてマイナス成長が見込まれるなど、インフレの長期化や金利引き上げにより欧州における景気が減速しております。

当社グループは、映像技術を核とした顧客のニーズに応じた最適な映像環境ソリューションを提供する「Visual Technology Company」として、世界トップレベルの高品質かつ信頼性の高い映像製品の提供、システムソリューションの提案を行っております。

2023年度は、第7次中期経営計画の最終年度となります。強固な財務基盤を活かし研究開発・設備・人的資本への投資を引き続き積極的に実行し、事業成長を実現してまいります。また、「撮影、記録、配信、表示」から成るImaging Chainをシステム事業として展開するEVS (EIZO Visual Systems) をより強くすることで、事業領域を更に拡大し新たな価値を提供してまいります。

当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は37,185百万円（前年同期比1.7%増）となりました。ヘルスケア及びアミューズメント市場向けの販売が増加したことや円安効果により前年同期を上回りました。一方で欧州経済の減速により、B&P (Business & Plus) やV&S (Vertical & Specific) は減少しました。

利益面は、原価の改善や高付加価値品の売上高構成比率の上昇等により、売上総利益は12,291百万円（前年同期比3.1%増）、売上総利益率は33.1%（同0.5ポイント上昇）となりました。販売費及び一般管理費は、賃上げ等による人件費の増加、研究開発活動の強化、展示会出展等により10,654百万円（同9.8%増）となりました。その結果、営業利益は1,636百万円（同26.0%減）、経常利益は為替差益の計上等により3,203百万円（同27.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に投資有価証券売却益があったことにより当期は減少し2,158百万円（同31.0%減）となりました。

市場別の売上は次のとおりです。

[B&P (Business & Plus)]

売上高は、6,656百万円（前年同期比22.2%減）となりました。欧州でIT投資での先送り、PC販売の減少の影響及び市場における在庫調整等により前年同期を下回りました。

[ヘルスケア]

売上高は、17,094百万円（前年同期比10.8%増）となりました。診断用途向けでは、海外は欧州を中心に販売が減少し、国内は案件の後ろ倒し等が見られました。内視鏡用途向けでは、欧米、中国及び日本での販売が好調に推移し、全体で前年同期を上回る結果となりました。

[クリエイティブワーク]

売上高は、2,676百万円（前年同期比2.2%減）となりました。欧州における景気の減速や米ハリウッドのストライキの影響もあり前年同期を下回りました。

[V&S (Vertical & Specific)]

売上高は、4,198百万円（前年同期比3.3%減）となりました。EVSは、国内の監視向けソリューションを納入する等売上高を増加させました。船舶向けは新規造船向けの需要増を受けて好調に推移しましたが、航空管制向けは案件の端境期により売上高は減少しました。この結果前年同期を下回りました。

[アミューズメント]

売上高は、4,070百万円（前年同期比32.2%増）となりました。主力機種の販売があり、前年同期を上回りました。しかし、当業界を取り巻く市場環境は、規則改正後の遊技人口の減少と店舗数の減少等により業界全体の規模縮小が進んでおり、厳しい状況が継続しております。

[その他]

売上高は、2,489百万円（前年同期比2.6%増）となりました。アミューズメント用ソフトウェア受託開発の売上高が増加したことによるものです。

(単位：百万円)

市場	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月 1日 至 2022年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月 1日 至 2023年9月30日)		増減	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	増減率 (%)
B&P (Business & Plus)	8,555	23.4	6,656	17.9	△1,899	△22.2
ヘルスケア	15,428	42.2	17,094	46.0	1,666	10.8
クリエイティブワーク	2,735	7.5	2,676	7.2	△59	△2.2
V&S (Vertical & Specific)	4,340	11.9	4,198	11.3	△141	△3.3
アミューズメント	3,079	8.4	4,070	10.9	990	32.2
その他	2,426	6.6	2,489	6.7	62	2.6
合計	36,566	100.0	37,185	100.0	619	1.7

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況は、前連結会計年度末と比較し、資産の部は現金及び預金、棚卸資産が増加したことにより7,404百万円増加し163,340百万円、負債の部は主に短期借入金が増加したことにより2,152百万円増加し37,507百万円、純資産の部はその他有価証券評価差額金等の増加により5,252百万円増加し125,832百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期の業績予想は、当初業績予想に対して売上高および利益ともに下回る見通しです。

世界経済は金利上昇やエネルギー価格の高止まり等の影響により景気の減速感が高まっています。当社の主要市場である欧州では景気減速の影響が顕在化し、各市場向けで設備投資の後ろ倒しが見られます。この状況下、ヘルスケア市場向けの販売は底堅い需要のもと堅調に推移するものの、欧州市場でB&Pやクリエイティブワーク市場向けが減少し、上期で底を打ったものの本格的な需要の回復は来期以降となる見通しです。また、V&S市場向けの一部では案件の後ろ倒し等があります。これらにより、全体の売上高は当初予想より減少する見通しです。

以上のことから、2023年5月12日公表の通期業績予想を下記のとおり修正いたします。

なお、今回業績予想の修正にあたり、下期に適用する為替レートを1ユーロ＝140円から157円、1米ドル＝130円から149円に変更いたしました。

当該連結業績予想数値の修正に関する事項は、本日（2023年10月31日）公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

(連結業績予想)

通期 売上高	81,500百万円	(前回発表予想比	8.4%減)
営業利益	5,100百万円	(前回発表予想比	32.0%減)
経常利益	7,200百万円	(前回発表予想比	16.3%減)
当期純利益	5,100百万円	(前回発表予想比	15.0%減)

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいておりますが、多分に不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等は今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,557	14,046
受取手形、売掛金及び契約資産	18,980	14,717
電子記録債権	1,680	1,811
商品及び製品	17,538	21,471
仕掛品	2,191	1,994
原材料及び貯蔵品	28,289	27,886
その他	1,765	1,331
貸倒引当金	△100	△94
流動資産合計	79,904	83,165
固定資産		
有形固定資産	21,988	22,661
無形固定資産	748	736
投資その他の資産		
投資有価証券	52,190	56,018
その他	1,104	758
投資その他の資産合計	53,294	56,776
固定資産合計	76,031	80,175
資産合計	155,935	163,340
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,897	4,371
短期借入金	1,575	8,075
未払法人税等	1,074	852
賞与引当金	1,686	1,420
製品保証引当金	2,031	2,093
その他	6,452	4,565
流動負債合計	19,717	21,377
固定負債		
長期借入金	947	948
役員退職慰労引当金	71	71
リサイクル費用引当金	580	550
退職給付に係る負債	2,598	2,603
その他	11,440	11,955
固定負債合計	15,638	16,130
負債合計	35,355	37,507

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,425	4,425
資本剰余金	4,313	4,320
利益剰余金	83,896	84,718
自己株式	△3,998	△3,988
株主資本合計	88,638	89,476
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28,851	31,341
為替換算調整勘定	2,599	4,604
退職給付に係る調整累計額	491	409
その他の包括利益累計額合計	31,942	36,355
純資産合計	120,580	125,832
負債純資産合計	155,935	163,340

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月 1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月 1日 至 2023年9月30日)
売上高	36,566	37,185
売上原価	24,649	24,894
売上総利益	11,916	12,291
販売費及び一般管理費	9,704	10,654
営業利益	2,212	1,636
営業外収益		
受取利息	6	7
受取配当金	548	583
為替差益	—	866
その他	91	201
営業外収益合計	646	1,657
営業外費用		
支払利息	11	43
為替差損	324	—
不動産賃貸費用	—	35
その他	14	12
営業外費用合計	350	91
経常利益	2,508	3,203
特別利益		
投資有価証券売却益	1,943	—
特別利益合計	1,943	—
特別損失		
固定資産除却損	—	16
投資有価証券売却損	5	—
特別損失合計	5	16
税金等調整前四半期純利益	4,446	3,186
法人税、住民税及び事業税	1,230	1,228
法人税等調整額	88	△199
法人税等合計	1,318	1,028
四半期純利益	3,127	2,158
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,127	2,158

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	3,127	2,158
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,269	2,490
為替換算調整勘定	1,582	2,004
退職給付に係る調整額	△57	△81
その他の包括利益合計	△2,745	4,413
四半期包括利益	381	6,571
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	381	6,571
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月 1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月 1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,446	3,186
減価償却費	1,079	1,280
引当金の増減額 (△は減少)	△425	△325
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△152	△125
支払利息	11	43
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,938	—
売上債権の増減額 (△は増加)	8,019	4,705
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△11,297	△1,308
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,269	△3,319
その他	△1,769	△1,955
小計	△756	2,182
利息及び配当金の受取額	556	597
利息の支払額	△13	△51
法人税等の支払額	△2,506	△1,258
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,720	1,470
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△826	△2,129
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△1	△301
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	2,604	49
その他	3	△22
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,780	△2,403
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	6,500
長期借入金の返済による支出	△69	△76
リース債務の返済による支出	△105	△158
自己株式の取得による支出	△2,061	—
配当金の支払額	△1,279	△1,337
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,516	4,927
現金及び現金同等物に係る換算差額	374	494
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,082	4,488
現金及び現金同等物の期首残高	22,387	9,557
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,305	14,046

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

当社グループは、映像機器及びその関連製品の開発・生産・販売が主であり、実質的に単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を行っておりません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

当社グループは、映像機器及びその関連製品の開発・生産・販売が主であり、実質的に単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を行っておりません。

3. 補足情報

(市場区分について)

区分	使用用途・場所
B&P (Business & Plus)	金融機関、公共機関、文教施設、CAD、商業施設、一般オフィス、ホームオフィス
ヘルスケア	診断・検査、治療・手術、医療IT
クリエイティブワーク	映像制作、3DCG、プロフォト、ハイアマチュアフォト、イラスト、デザイン、出版・印刷
V&S (Vertical & Specific)	社会インフラや産業機器で求められる多種多様な用途 航空管制、船舶、監視、MIL規格対応、その他産業用途(タッチモニター含む)
アミューズメント	パチンコ・パチスロ遊技機に搭載される液晶モニター
その他	保守サービス及びソフトウェアの受託開発